



学校教育目標

人権尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた
心身ともに健康で自己実現をめざす生徒の育成

目指す生徒像

- 【自主】 進んで学び、考え、行動する生徒
- 【友愛】 優しく思いやりのある生徒
- 【健康】 粘り強い意志と体力のある生徒
- 【奉仕】 人の立場を理解し奉仕の心が身についた生徒
- 【郷土愛】 伝統と文化を尊重し郷土を愛する生徒

社会の変化や状況
生徒の実態や思い
保護者や地域の願い



運営・経営の基本方針

学校、家庭、地域の協働による「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す」生徒の育成

生徒

自主

- (1)興味関心をもち自己決定しながら主体的に学習に取り組むことを通して、知識・技能の習得等の認知能力を身に付ける。
- (2)他者との対話・交流を通して自己の考えを広げ深めること、試行錯誤を通して粘り強く取り組むことで非認知能力を身に付ける。

友愛

- (1)一人一人が自分を大切に、多様性を尊重し合う姿勢を身に付ける。
- (2)異なる状況の友達との対話や交流を通して、互いに良い方向を見出す姿勢を身に付ける。



健康

- (1)健康な生活や感染症予防等に対し高い意識をもち、体育の授業や部活動、体育的行事等の運動を通して体力の保持増進を行う姿勢を身に付ける。
- (2)薬物乱用防止教育、性に関する指導、自然災害等から身を守るための防災教育等を通して、健康・安全への理解を深める。

奉仕

- (1)学級活動や生徒会活動に主体的に参加し、自ら学級や学校のために力を尽くそうとする姿勢を身に付ける。
- (2)地域諸行事等へ主体的に参加し、地域社会の一員として役に立つことを通して、信頼される経験を積む。



郷土愛

- (1)総合的な学習の時間における地域学習に意欲的に取り組み、地域の理解を深め郷土愛を醸成する。
- (2)境野検定等に意欲的に取り組むことを通して、地域の伝統や文化を学び、郷土を愛する心を醸成する。



教職員

- (1)生徒を見守り、適切な支援を行う授業デザインを実践する。
- (2)自己決定、対話交流、試行錯誤の場面を意識した問題解決的な学びを実践する。
- (3)「めあてと振り返り」に重点をおいた授業改善に努める。
- (4)タブレットPCを効果的に活用する。

- (1)積極的な生徒指導を充実させ、自己指導力を高める。
- (2)教育相談を充実させ、自己決定の場の提供を図る。
- (3)道德教育を充実させ、共感的な人間関係の育成を図る。
- (4)居場所があり認め合える学級経営（学年経営）に努める。

- (1)熱中症、感染症予防等に配慮した教育活動を推進する。
- (2)家庭や地域と連携を図り、「体力向上プラン」の推進を図る。
- (3)防災に関する指導の充実を図り、自然災害への意識を高める。
- (4)SNS等の進展を踏まえ、身体への影響や依存のリスクに関する指導の充実を図る。

- (1)係活動や委員会活動に、自分事として参画させ奉仕の意識を高める。
- (2)生徒会活動において、本部が主体となり各専門委員会を活性化させる。
- (3)地域諸行事等へ積極的に参加させ、道徳的実践力を育成する。

- (1)地域人材の活用に視点を当て、各種指導計画の見直しを図る。
- (2)地域人材を活用した授業実践を通して地域連携を促進する。
- (3)総合的な学習の時間における地域学習の内容を工夫し質の向上を図る。



学校組織

- (1)見通しをもって効果的に研修ができるように校内研修組織の充実を図る。
- (2)「はばたく群馬の指導プランⅡ」などを参考にしながら「自律した学習者」の実現に向けた校内研修の推進を図る。
- (3)全国学力・学習状況調査の結果を指導に生かしながら、各種コンテストや定期テスト前・長期休業中の補充学習を充実させるとともに家庭学習充実のための策を講じる。

- (1)新学習指導要領の趣旨を十分踏まえて、道德科の授業内容と評価を充実させる。
- (2)教科横断的な視点を持ち、人権教育の充実を図るとともに、情報モラルの育成に繋がる指導を繰り返す。
- (3)相談対応、情報交換、ケース検討の充実に係る組織の機能化を図る。
- (4)特別支援学級が円滑に運営されるよう、すべての職員が協働して情報共有と生徒の支援に当たる。

- (1)学校保健委員会を年1回開催し、自校の健康課題を明らかにするとともに、生徒・保護者への啓発を図る。
- (2)体育的行事の持ち方を長期的な視点に立って検討・改善する。
- (3)望ましい部活動の在り方について協議する機会を適宜設定し、将来を見据えた対策を練る。
- (4)避難訓練、安全点検等を現実的な視点に立って計画・実施できるようにする。

- (1)特別活動主任、生徒会担当が中心となり、主体的な教育活動となるよう特別活動の年間指導計画を改善する。
- (2)生徒会本部担当、学級委員会担当が中心となり、JRC活動を活性化させ、地域諸行事、ボランティア活動、募金活動などの各種活動に対し、主体的に取り組む道徳的実践力を育成する。



- (1)教頭が中心となり、地域人材を活用した授業等の実施結果をデータ化し、データバンクとして活用を深める。
- (2)総合的な学習主任が中心となり、主体的な学習内容となるよう指導過程の改善を図る。



目指す教職員像

- Ⅰ エージェントを発揮し、スキルを高める教職員（使命感・向上心）
- Ⅱ 強みを発揮し合い、チームで迅速に対応する教職員（協働）
- Ⅲ 業務改善をすすめて心身を安定させ、適切に支援する教職員（健康・服務規律確保）

